

令和7年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中緑ヶ丘中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「あいさつペンギンカード（挨拶を広める取り組み）」+小学校と合同の挨拶運動		



◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
自分から挨拶をする生徒はR7年度1学期が78%と目標の80%に届かなかった。実際の感覚としても挨拶の声などは小さい傾向にある。そのような課題は生徒からあげられてはいたものの、実際に取り組むことができていなかった。挨拶について取り組むことで主体性も高めたい。	様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、自分を大切にし、志を持って夢に挑戦し、学び続ける児童生徒の育成を図る。

◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<p>①学校生活の中で挨拶を評価することで、挨拶をしてもよい、した方がよいという雰囲気を作り、円滑なコミュニケーションづくりや活気ある学校づくりにつなげる。</p> <p>②学校生活の中で仲間の行動に意識を向けさせ、支えてくれている人の存在や集団の中での個々の行動の重要性に気づかせる。</p> <p>③学校生活の中で生徒に声を掛ける機会を増やすことで、相談しやすい関係性を築き、集団として支持的風土を高めていく。</p>	

取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等																	
【あいさつペンギンの仕組み】																	
<p>①学校生活の中で頑張っている場面を見かけたら、全教職員がシール・サインを渡す。</p> <p>②この期間中に生徒会執行部が挨拶運動を行いその際に執行部からもシール・サインを渡す。</p> <p>③生徒は、教職員から自分の「〇〇カード」にそのシールを貼るもしくはサインをもらう。</p> <p>④すべての欄がうまったら、生徒はその旨を担任に報告し次のランクのカードを担当からもらう。たまったカードは掲示</p> <p>⇒第1回・第2回はクラスごとに掲示。第3回は部活動ごとに掲示。</p>	<p>朝の正門での挨拶や日々の号令、廊下などですれ違う時に挨拶を！！ →執行部や先生たちからシールやサインをもらう！！</p>																
【生徒へ伝える流れ】																	
<p>①職員に周知（職朝メモとPDF） ②給食時間に緑中ラジオ（全校リモート）で全校生徒へ説明</p> <p>③取組後緑中ラジオで表彰（クラス表彰+個人表彰（マイスターバッジの贈呈））</p>																	
【創意工夫】																	
<p>①挨拶の状況、カード枚数の見える化 ②徐々に活動を生徒会から立候補で募った「挨拶実行委員」へ移行し主体性を持たせる ③執行部および実行委員のアイデアを積極的に反映（挨拶の意味を動画で告知、キャラクターの募集、クラスごとから部活動ごとに移行、全校へ事後アンケートの実施など） ④校区内小学校と連携し、それぞれで「挨拶」をテーマにした取り組みを実施し、定期的なりモート会議を開き、課題などを共有する ⑤小中合同の挨拶運動など実施しお互いの状況を確認する</p>	<p>【取り組みの結果：カード枚数】</p> <table border="1"> <caption>【取り組みの結果：カード枚数】</caption> <thead> <tr> <th>回</th> <th>3学年</th> <th>1学年</th> <th>2学年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1期カード枚数</td> <td>234</td> <td>98</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>2期カード枚数</td> <td>350</td> <td>55</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>3期カード枚数</td> <td>314</td> <td>181</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table>	回	3学年	1学年	2学年	1期カード枚数	234	98	57	2期カード枚数	350	55	58	3期カード枚数	314	181	62
回	3学年	1学年	2学年														
1期カード枚数	234	98	57														
2期カード枚数	350	55	58														
3期カード枚数	314	181	62														

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）	
<p>○生徒会執行部の取組だけではなく実行委員を募ったことでより全校生徒を巻き込めるようなアイデアが生まれた。</p> <p>○「見える化」することで全校生徒との課題意識が生まれ、全校生徒が一体となった取り組みとなり、徐々にカード枚数も増えていった。挨拶をしても恥ずかしくない雰囲気となった。</p> <p>○小学校と共通したテーマで取り組んだことで連携がしやすく、意見交流も重ねることができた。</p> <p>●挨拶の意識を日常化させることが課題であり、小学校との連携も1年で終わらせることなく継続していくことが今後必要だと考えている。</p>	